

## 舞踊学会 第25回定例研究会報告

日時：2022年6月18日（土） 10：00～17：00

オンライン開催（Zoom使用）

コロナ禍の影響を受け、定例研究会は一昨年度、昨年度と開催見送りとなっていたが、学会大会をオンラインで実施した経験もふまえ、今年度は定例研究会もオンラインで開催する運びとなった。研究発表は8件、約7時間にわたる研究会であったが、オンライン上での大きなトラブルもなく、各セッションにおいて活発な議論が交わされ、充実した一日となった。

### 【プログラム】

■ Zoom会場入室受付開始 9：40

■ 開会挨拶・事務連絡 10：00～10：05

■ 一般研究発表 10：05～17：00

時間	発表者	所属	発表題目	座長
10：05～10：50 (発表30分、質疑応答15分)	吉田駿太郎 深澤南土実	日本学術振興会特別研究員（PD）／早稲田大学 お茶の水女子大学	コロナ禍の日本における人工知能を用いた振付作品の創作過程とテクノロジーパフォーマンスの意義：《ベートーヴェン・コンプレックス》を事例に	松澤慶信 (日本女子体育大学)
10：50～11：50 (発表40分、質疑応答20分)	佐藤真知子	お茶の水女子大学	日本新舞踊とアレクサンドル・サハロフ	國吉和子 (舞踊評論家)
11：50～13：00	昼休み			
13：00～13：45 (発表30分、質疑応答15分)	宮川麻理子	立教大学	大野一雄論——身体とエクリチュール（博士論文発表）	富田大介 (芸術文化観光専門職大学)
13：45～14：45 (発表40分、質疑応答20分)	武藤大祐	群馬県立女子大学	性的な舞踊としてのストリップの変容——「黄金時代」と1985年以後	
14：45～15：00	休憩			
15：00～15：30 (発表20分、質疑応答10分)	中村 まい	お茶の水女子大学大学院博士後期課程	阿波踊り史にみる企業の役割	弓削田綾乃 (和洋女子大学)
15：30～16：00 (発表20分、質疑応答10分)	金 保延		韓国の「文化芸術教育政策」における新たな学校舞踊教育	朴京眞 (聖心女子大学)
16：00～16：30 (発表20分、質疑応答10分)	白澤 舞	長野県立大学	保育環境を創造する保育者の受容的・応答的な身体スキルを育む教育実践の試み—舞踊家の創造的活動を支えた教育プログラムを応用して—	寺山由美 (筑波大学)
16：30～17：00 (発表20分、質疑応答10分)	山崎正枝 出嶋志津子	金沢大学 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校	学校教育における身体運動文化としての「舞踊実践」—イサドラ・ダンカンの身体表現からの考察—	

■ 閉会挨拶 舞踊学会会長 猪崎弥生

※このたびのZoomでの定例研究会開催にあたり、日本大学芸術学部にご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

例会企画運営委員会

委員長：森立子

運営委員：小林直弥、高橋京子、富田大介、山田小夜歌、弓削田綾乃